

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 生駒市社会福祉協議会

目 次

1	社会福祉協議会運営の基盤整備	・・・	1
2	地域福祉活動の推進	・・・	3
3	権利擁護活動の推進	・・・	10
4	ボランティア活動の推進	・・・	12
5	生活福祉資金等を活用した自立支援	・・・	13
6	災害時に向けた取組み	・・・	15
7	生活困窮者自立相談支援事業	・・・	15
8	生駒市福祉センターの円滑な管理・運営	・・・	18
9	地域包括支援センターの運営と介護予防の推進	・・・	22
10	デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営	・・・	24
11	交通遺児（高校生）奨学金の支給	・・・	27

事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済や社会活動に大きな影響が及び、さまざまな社会課題を顕在化させました。なかでも、生活福祉資金貸付の貸付相談は急増し、生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）に基づく生活困窮者自立相談支援事業や生活困窮者緊急支援事業等と連携しながら支援を行いました。

また、人との接触を減らす、距離を開けるなどの感染対策は、これまで人と人とのふれあいを大切に続けてこられた、地域のサロンやボランティアの活動はもちろん、当社会福祉協議会の事業運営にも長く大きな影響を及ぼしました。社会福祉法人生駒市社会福祉協議会におきましては、行政や関係機関等との連携を今まで以上に強化し、感染症対策に充分留意しつつ、方法を見直しながら事業の運営や地域活動の支援に取り組みました。

当社会福祉協議会の事業運営に当たりましては、地域の皆様や団体の温かいご理解により、多大なご支援ご協力をいただきましたことを感謝申し上げますとともに、ここに事業概要及び執行状況を報告いたします。

1 社会福祉協議会運営の基盤整備

(1) 組織体制・財政基盤の強化

ア 理事会・評議員会の運営

当協議会を円滑に運営するため、次のとおり開催した。

会議名	開催日	場 所	主 な 内 容
決算監査	5月20日	コミュニティセンター	・ 令和元年度社会福祉法人生駒市社会福祉協議会事業報告及び計算書類の監査
理 事 会	5月28日	書面決議	・ 令和元年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について ・ 生駒市社会福祉虚偽会の評議員の補充選任について ・ 評議員選任・解任委員会委員の補充選任について ・ 令和2年度生駒市社会福祉協議会定時評議員会の招集について
評 議 員 会	6月8日	書面決議	・ 令和元年度生駒市社会福祉協議会の事業報告及び計算書類について

理 事 会	3月22日	コミュニティ センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について ・ 令和3年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について ・ 令和2年度生駒市社会福祉協議会第2回評議員会の招集について
評 議 員 会	3月26日	コミュニティ センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度生駒市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1回)について ・ 令和3年度年度生駒市社会福祉協議会の事業計画及び資金収支予算について

イ 共同募金事業への協力

(ア) 共同募金委員会の運営

市民に分かりやすく透明性があり、参加しやすい募金運動を展開するため共同募金委員会を開催した。

開催回数 2回

(イ) 共同募金運動の推進

10月から赤い羽根共同募金運動を行い、自治会、市内小・中学校、生駒商工会議所を始め、市民の皆様のご理解ご協力により多額の募金をいただいた。

また、10月1日に、民生・児童委員連合会の協力を得て、市内の各駅前等で街頭募金活動を実施した。

(単位:円)

募金方法	令和2年度	令和1年度
戸 別 募 金	6,015,540	5,929,798
街 頭 募 金	127,330	195,482
職 域 募 金	253,361	351,356
法人(企業)募金	616,500	718,500
学 校 募 金	145,737	213,006
そ の 他	483,864	293,174
合 計	7,642,332	7,701,316

(ウ) 歳末たすけあい運動の実施

民生・児童委員連合会、自治会、共同募金委員会、当協議会等が一体となって「歳末たすけあい募金運動」を行い、市民の皆様の温かい善意と関係者の熱心な協力によって多額の募金をいただいた。この募金は、年末に支援を必要とする人たちへの援助や事業等、地域の福祉活動に活用した。

(単位:円)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
募金実績額	3,951,758	4,083,211

配分内訳

(単位:円)

対 象	金 額
市内児童養護施設 (入学祝い)	116,000
地区民生・児童委員協議会への助成 (コロナ対策一人暮らし高齢者見守り活動・ 歳末プレゼント)	1,872,863
生活困窮者緊急支援事業	109,075
合 計	2,097,938

(2) 福祉情報の提供及び広報活動の強化

ア 広報「社協だより・いこま」の発行

「社協だより・いこま」を発行して市内全戸に配布し、当協議会の事業の報告や情報提供に努めた。

- ・第112号(令和 2年 4月 1日)
- ・第113号(令和 2年 7月 1日)
- ・第114号(令和 2年10月 1日)
- ・第115号(令和 3年 1月 6日)

イ ホームページの充実

ホームページにより、当協議会に関する情報を、迅速に分かりやすく提供した。

2 地域福祉活動の推進

誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域社会の実現のため、市民の参加を得て、様々な福祉ニーズの相談に応じるとともに、きめ細かな福祉サービスを組織的かつ総合的に推進した。

(1) 福祉総合相談体制の充実

ア 総合相談窓口の設置

相談を通じて市民のニーズを把握するとともに、当協議会の諸資源の積極的活用と専門的な相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	令和2年度		令和1年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生計	2	0	2	0
家族関係	6	4	0	0
健康・医療	0	0	1	1
財産	0	0	0	0
教育・青少年問題	0	0	0	0
障がい者福祉	4	3	8	1
高齢者福祉	24	18	44	15
児童福祉	0	0	1	1
人権・法律	4	4	0	0
近隣問題	4	2	2	2
その他	17	7	46	10
合 計	61	38	104	30

イ 心配ごと相談の運営

民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、毎月第1木曜日(祝日を除く。)に各種の相談に応じた。

(単位:件)

相談事項	令和2年度		令和1年度	
	件数	他機関紹介	件数	他機関紹介
生 計	0	0	0	0
家族関係	2	1	2	2
健康・医療	1	1	2	2
財 産	0	0	1	1
教育・青少年問題	0	0	0	0
障がい者福祉	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0
児童福祉	0	0	0	0
人権・法律	0	0	0	0
近隣問題	2	0	1	1
その他	0	0	1	1
合 計	5	2	7	7

(2) ふれあい・いきいきサロン推進事業

ア サロン活動への支援・情報提供

(ア) サロン活動への情報提供と活動紹介

現在開設中の各サロンに助成等に関する情報の提供を行うとともに、サロン活動の啓発の一環として「社協だよりいこま」に活動紹介の記事を掲載した。

社協だよりいこま掲載

No.1 1 2号 あかしあサロン（光陽台）

No.1 1 4号 さくらサロン（桜ヶ丘）

No.1 1 5号 あじさいサロン（高山町）

(イ) サロン活動等への助成

1回目の緊急事態宣言解除後、住民が主体的に行う高齢者サロン、のびのび教室、わくわく教室、百歳体操等の活動が、「新しい生活様式」を取り入れながら安心安全に速やかに再開できるよう、アルコール消毒液の配布や費用を助成した。

(3) 高齢者支援事業

ア 友愛電話訪問事業

電話による訪問については、事務局の過密を避けるため、可能な限りボランティアの自宅から行うことを調整して実施。訪問対象者とボランティアとの交流会やボランティア研修会は実施を見合わせた。

(ア) 友愛電話訪問

ひとり暮らし高齢者の孤独感を解消することを目的に、訪問ボランティアの協力により、月曜日から金曜日（祝日を除く。）に電話による訪問を実施した。

区 分	令和2年度	令和1年度
対 象 者	31人 (男性8人・女性23人)	26人 (男性6人・女性20人)
実施日数	243日	240日
訪問回数	885回	953回
ボランティア	15人	14人

イ 介護家族支援事業（家族介護教室）

介護の方法や介護されている方の健康づくりなどについて、専門家から学ぶ教室を、過密を避けるため募集を縮小して、デイサービスセンター幸楽で開催した。

開催日	人数(人)	内 容	講 師
9月19日	6	介護の負担を軽減 自宅で出来る元気になる運動	友誼会総合病院 技師長 徳久 謙太郎氏
10月17日	5	簡単にできる 飲み込みやすいおいしい食事	やすらぎの杜 延寿 管理栄養士 半田 恵美氏
11月7日	11	気持ちのいい排泄のため 考えてみよう・体験してみよう	(株)はいせつ総合研究所 代表 浜田 きよ子氏
11月28日	7	認知症の方との寄り添い方 (オレンジリングの配布あり)	若年性認知症サポートセンター絆 菅 昌生氏
11月30日	3	介護者のストレス軽減 ～アロマで癒しを～	日本エンジェルセラピー協会 理事長 浦野 典子氏
合 計	32		

ウ 緊急時あんしんカードの配布

ひとり暮らし高齢者が緊急時に、速やかに連絡等ができるよう、各自の情報(氏名、住所、電話番号、緊急連絡先、かかりつけの病院等)を書き込んで、身近な所に常備できるカードを作成し、民生委員・児童委員を通じて配布した。

エ 認知症高齢者等見守り事業(認知症支え隊)

在宅の認知症高齢者等に対し、ボランティア(隊員)が電話連絡や同行などの外出支援等を行い、本人の社会参加や活動を継続することにより、認知能力・身体能力の低下を防止し、在宅生活及び活動を継続した。また、事業をとおして利用者が通う外出先のボランティア等地域住民の認知症への理解を促進した。

区 分	令和2年度	令和1年度
隊員数	53名	40名
活動隊員(実人数)	17名	13名
支援回数	145回	147回

(4) 障がい者支援事業

障害者週間(12月3日～9日)キャンペーン事業

街頭啓発では啓発物品の手渡し配布を自粛するなどの対策を行うとともに、啓発場所も商業施設等を避けるなど限定して実施し、例年福祉センターで開催していた講演会や模擬店などの各種イベントについては中止した。なお、ポスター展については例年どおり開催した。

ア 「障害者週間」街頭キャンペーン

障がいのある人とない人が共に支え合い、尊重し合う共生社会を推進するため、障がい者団体及び関係団体の協力を得て、生駒駅等において啓発活動を実施した。

実施日 12月3日
 場所 生駒駅、東生駒駅、南生駒駅
 協力者 障がい者団体及び民生・児童委員連合会

イ 「障害者週間」ポスター展

障がいについての理解と関心を高めることを目的に、市内の小・中学生からポスターを募集し、応募された作品を展示した。

場所 生駒市役所 (11月20日～11月26日)
 生駒市福祉センター (11月28日～12月9日)
 参加校 生駒小学校、真弓小学校、桜ヶ丘小学校、生駒台小学校、あすか野小学校
 作品数 22点

(5) 福祉教育事業

ア 福祉出前講座

車いす体験学習ではDVD「車いす事前学習」を作成・配布し(小学校10校、中学校1校)事前に学習をしていただくことで体験の時間短縮ができ、授業のコマ数を増やすことで少人数による体験学習を実施することができた。また、アイマスク体験学習においては、実施を見送った学校に対しDVD「視覚障がい者について知ろう」を作成・配布(小学校8校、中学校1校)することで学習の場を提供することができた。なお、当該DVDについては県内各社協における福祉教育事業に活用したい旨の要望があり奈良県社協をはじめ県内8社協にも提供しご利用いただいている。

開催日	場所	対象者	人数	内容
9月2日、3日	上中学校	2年生	230	車いす体験
9月9日	ひがし保育園	3～5歳児	125	手話体験
9月25日	生駒東小学校	4年生	75	点字体験
10月2日	真弓小学校	4年生	116	手話体験
10月7日	生駒小学校	4年生	75	車いす体験
10月9日	真弓小学校	4年生	116	車いす体験
10月23日	生駒小学校	4年生	75	点字体験
10月23日	生駒東小学校	4年生	100	手話体験
10月22日、29日 11月12日	あすか野小学校	4年生	161	車いす体験
10月27日	鹿ノ台小学校	4年生	108	車いす体験
10月28日	あすか野小学校	4年生	161	手話体験
10月30日	大瀬中学校	1年生	168	点字体験
10月30日	大瀬中学校	1年生	168	手話体験
11月4日	生駒南中学校	2年生	52	アイマスク体験
11月5日	俵口小学校	4年生	93	車いす体験
11月5日	鹿ノ台小学校	4年生	108	手話体験
11月10日、11日	あすか野小学校	4年生	161	点字体験

11月13日	鹿ノ台佐保保育園	4～5歳児	24	手話体験
11月18日	生駒南小学校	5年生	71	車いす体験
11月19日	生駒東小学校	4年生	100	車いす体験
11月20日	生駒台小学校	4年生	139	手話体験
11月26日	中保育園	5歳児	38	手話体験
12月4日	俵口小学校	4年生	93	点字体験
12月4日	俵口小学校	4年生	93	手話体験
12月8日	生駒台小学校	4年生	139	車いす体験
12月11日	生駒台幼稚園	年長児	62	車いす体験
12月17日	生駒南小学校	3年生	69	アイマスク体験
1月19日	生駒北小学校	4年生	18	点字体験
1月27日	壱分幼稚園	4歳児	29	手話体験
3月9日	桜ヶ丘小学校	5年生	104	福祉教育（車いす）
	合 計	30回	3, 071	

イ 相談援助実習及び介護等体験実習生の受入れ

社会福祉教育の一環として、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和 62 年法律第 30 号）に規定する社会福祉士等の資格取得に必要なソーシャルワーク実習等の学生を受け入れた。

- ・ ソーシャルワーク実習 2 人
- ・ 介護等体験実習 中止

(6) ひとり親家庭交流事業

親子のふれあいとひとり親家庭相互の交流を図り、社会参加を促す「ひとり親家庭一日レクリエーション」は開催を見合わせた。

(7) ふれあい援助事業

出産、けが等の一時的な事情により、家事や介護等の日常生活に支障がある家庭に対しホームヘルパーを派遣した。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
派遣件数	22 件	32 件
派遣時間	41 時間 30 分	92 時間 00 分

(8) 車いす貸出し

高齢者、身体障がい者等の外出援助のため、無料で車いすの貸出しを行った。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
車いす	42 台 (福祉センター19 台)	119 台 (福祉センター 65 台)

(9) 善意銀行の運営

市民の皆様から善意の預託を受け、預託者の意思に従ってその指定先に払い出した。

預 託		払 出		払 出 先
件数	金 額	件数	金 額	
5 件	84,216 円	2 件	44,000 円	愛染寮

(10) 当事者組織の支援

身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会等の当事者の会と連携の強化及び連絡調整を図るとともに、福祉活動の強化に努めた。

(11) 社会福祉関係団体との連携強化

民生・児童委員連合会、老人クラブ連合会、保護司会、更生保護女性会をはじめ、身体障害者福祉会、障害児・者を守る連合会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児・者父母の会、聴覚障害者協会、難聴者福祉協会、遺族会、介護者（家族）の会等と連携体制の強化及び連絡調整を図り、福祉活動の強化に努めた。

ア 生駒市民生・児童委員連合会事務局の運営

民生・児童委員連合会の事務局として、適切な運営を行った。

イ 生駒市老人クラブ連合会事務局の運営

老人クラブ連合会の事務局として、適切な運営を行った。

ウ 生駒市居宅介護支援事業者協会事務局の運営

居宅介護支援事業者協会の事務局として、適切な運営を行った。

エ 生駒市保護司会事務局の運営

保護司会の事務局として、適切な運営を行った。

オ 生駒市地区更生保護女性会事務局の運営

更生保護女性会事務局として、適切な運営を行った。

(12) 生活支援コーディネーターの配置

生活支援・介護予防サービス提供体制の充実や強化、高齢者の社会参加を一体的に推進するため、関係者のネットワークや既存の取組み等と連携し、担い手の育成やサービスの開発を行った。

(13) 生活困窮者緊急支援事業

生活困窮者自立支援事業を利用するもののうち、緊急に支援が必要と認めるものに対して、緊急物品等の支給し、生活困窮者に充実した相談支援を行った。

(14) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

3 権利擁護活動の推進

(1) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力の十分でない高齢者や障がい者の生活に関わる相談に応ずるとともに、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行う福祉サービス利用援助事業を推進した。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
相談援助件数	155 件 (内新規相談 14 件)	152 件 (内新規相談 21 件)
契約者数	43 人 (内新規契約者 6 人)	40 人 (内新規契約者 6 人)
生活支援員活動 件数	521 件	589 件
生活支援員活動 時間	421 時間 00 分	516 時間 00 分

ア 生活支援員基礎研修の実施

実施日 2月10日
内容等 「生活支援員基礎研修」講師 県社協職員
「障がい者について」講師 市職員
「認知症について」講師 社協職員(認知症地域支援推進員)
参加者 14名

(2) 権利擁護支援センターの運営及び権利擁護支援の推進

知的障がい、精神障がい、認知症等により判断能力が十分でない者の権利の侵害への対応及び権利の行使に社会的な支援が必要な障がい者及び高齢者に対し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることを目的に権利擁護に関する相談から支援までを総合的に行った。

ア 成年後見制度利用支援

成年後見制度利用に関する相談、調整等の支援を行った。

区 分	令和2年度
成年後見制度利用 支援件数	19件
上記のうち 申立に至った件数	11件
日常生活自立支援 事業からの移行	4件

イ 法人後見事業の実施

適切な成年後見人等がない場合に生駒市社会福祉協議会が成年後見人等に就任し必要な支援を行った。

受任件数 1件（補助類型）

ウ 専門相談窓口の設置

（ア） 成年後見制度無料相談会

リーガルサポート奈良支部会員の司法書士と権利擁護支援センターの職員（社会福祉士）による成年後見制度に関する相談会（毎月第3木曜日、予約制）を行った。

区 分	令和2年度	令和1年度
相談件数	24件	14件

（イ） 高齢者及び障がい者のための無料法律相談

弁護士による、高齢者及び障がい者のための無料法律相談（毎月第2・4木曜日、予約制）を行った。

区 分	令和2年度	令和1年度
相談件数	31件	21件

（ウ） 生駒市権利擁護支援センター相談実績

専門相談員（社会福祉士）を配置し、必要な相談支援を行った。

区 分	令和2年度	令和1年度
電話相談 (メール、ファクス含む)	285件	165件
面談	49件	25件
訪問	80件	43件
合 計	414件	233件

(エ) 福祉関係機関向け専門相談

権利擁護支援センターの職員が相談を受け、弁護士への相談を行った。

区 分	令和2年度	令和1年度
相談件数	13件	6件

エ 実務者連絡会の開催

実施日 1月19日
場 所 生駒市福祉センター
内 容 講座「親なき後の引きこもり問題」
講 師 司法書士 平方 貴之 氏
参加者 15人

オ 権利擁護支援セミナーの開催

奈良弁護士会、奈良県司法書士会、(公社)成年後見センター・リーガルサポート奈良支部、(一社)奈良県社会福祉士会 権利擁護センターばあとなあ・ならとの共催で成年後見制度と家族信託に関するセミナーを開催した。

実施日 2月28日
場 所 コミュニティセンター
内 容 「人生100年時代をあなたらしく！
～老後を安心して暮らすために～」
講 師 「成年後見制度(法定後見)について」社会福祉士 檜井 猛詩 氏
「家族信託について」司法書士 平方 貴之 氏
「具体的事例にみる家族信託と成年後見制度の比較」
弁護士 佐々木 育子 氏
参加者 54人

(3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

4 ボランティア活動の推進

(1) ボランティア活動保険等の受付

区 分	令和2年度	令和1年度
ボランティア活動保険	2,785人	3,352人
ボランティア行事保険	36件	117件
保険請求件数	0件	5件

(2) ボランティア活動普及事業協力校への支援

小学校及び中学校の児童や生徒を対象に、社会福祉に対する理解と関心を深めることを目的として、学校に対して助成を行った。

助成校 生駒小学校、生駒北小学校、桜ヶ丘小学校、壺分小学校、生駒南第二小学校、生駒中学校、鹿ノ台中学校、光明中学校、生駒高等学校、奈良北高等学校

(3) 生駒市内のボランティア団体との連携

ア 生駒市社会福祉協議会ボランティアネットワークへの情報提供

民間助成金等の情報を17回配信した。

イ ボランティアネットワーク情報交換会の開催

実施日	8月18日
場所	コミュニティセンター
内容	グループの活動状況や再開する場合における工夫についての情報交換
参加	8グループ15名

実施日	11月16日
場所	コミュニティセンター
内容	活動紹介（音訳グループ やまびこ、生駒女性防火防災クラブ）、 情報交換
参加	9グループ21名

(4) 福祉ボランティア団体の活動支援

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進を目的として、福祉ボランティア団体に対して助成を行った。

助成団体 幸楽ボランティア、手話サークルかしの木、手話サークルハーブ、要約筆記いこま、夢の会

(5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

5 生活福祉資金等を活用した自立支援

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、奈良県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業を活用した資金の貸付けと必要な援助指導等により、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加を促進した。

(1) 低所得者世帯等への支援活動

ア 生活福祉資金の貸付相談

民生委員・児童委員の協力を得て、低所得者、高齢者及び障がい者の世帯に生活福祉資金の貸付けを行い、経済的な自立と生活意欲の促進に努めた。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
相談件数	1,863	104

イ 貸付申請件数

区 分	令和 2 年度		令和 1 年度	
	件数(件)	決定額(円)	件数(件)	決定額(円)
福祉資金				
・福祉費	1	1,200,000	0	0
・緊急小口資金	3	300,000	2	200,000
教育支援資金				
・教育支援費	3	4,047,000	6	5,931,000
・就学支度費	1	350,000	7	1,334,000
総合支援資金				
・生活支援費	0	0	1	300,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型生活資金				
・要保護世帯向け	0	0	0	0
合 計	8	5,897,000	16	7,765,000

特例貸付	令和 2 年度	
	件数(件)	貸付決定額(円)
・緊急小口資金	660	126,170,000
・総合支援資金		
(初回)	465	251,350,000
(延長)	242	132,150,000
(再貸付)	160	86,900,000
合 計	1,527	596,570,000

(2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

6 災害時に向けた取組み

(1) 災害支援に関する学習・啓発活動

災害時における連携・協働のあり方などについて考えることを目的とした災害ボランティア養成講座は開催を見合わせた。

(2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

7 生活困窮者自立相談支援事業

経済的な問題のみならず、複合的な問題を抱えている生活困窮者に対して、生駒市くらしとしごと支援センターにおいて個別に対応し、自立に向けて支援する生活困窮者自立相談支援事業を推進した。

(1) 生駒市くらしとしごと支援センターの運営

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、各生活困窮者に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援体制を構築するために相談員を配置し総合的な支援を行った。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
支援件数合計	1,585	1,105
電話相談	(544)	(535)
訪問同行支援	(86)	(138)
面談支援	(925)	(432)
新規相談件数	(442)	(131)

ア 支援調整会議

生活困窮者の複合的な課題を整理し、課題解決のための支援プランについて関係機関と合同でケースの検討及び支援の決定を行った。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
開催数	10 回	13 回
検討ケース	10 件	29 件
プラン作成件数	100 件	62 件
評価	97 件	63 件

イ 就労支援実績

生活困窮者に対する就労支援を行った。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
支援対象者件数	62	25
就労開始件数	(35)	(22)
就労増収件数	(16)	(3)

ウ サロンの開催

生活困窮者の居場所作りと、自己理解を深めるプログラムを実施し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数	計 8 回
場 所	コミュニティセンター
内 容	個人で取組みが出来る箱庭、カード等を使ったワークや、コミュニケーションを取りながら課題を完成させるワークなどを取り入れ、個人の特性等の理解を深め、他者との関係性の構築のためのきっかけ作りとした。
講 師	Co-en 浜口 桂氏
参 加 者	20 人 (延べ)

(2) 住居確保給付金

離職により生活に困って、住居を失った人、又は住居を失う恐れの高い人に安定した就職活動ができるよう、期限付きで家賃相当額を支給する制度を推進した。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
相談件数	335	2
申請件数	56	0

(3) 被保護者就労支援事業

生活保護被保護者に対する就労支援として、生活保護被保護者就労支援促進事業を活用し、ハローワークと連携しながら就労支援を行った。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
支援対象者件数	43	26
就労開始件数	(13)	(9)
就労増収件数	(0)	(0)

(4) 家計相談支援事業

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者ととともに家計の状況を明らかにして生活の再生に向けた意欲を引き出した上で、家計の視点から必要な情報提供や、専門的な助言・指導等を行った。

ア 家計相談支援事業相談

生活困窮者からの相談に応じ、家計の問題を明らかにして生活の再生に向けたプランを作成し、家計を管理する力を高め、早期に家計が再生するための支援を行なった。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
相談支援件数	138	18

イ 無料家計相談会

奈良県司法書士会の司法書士と社協職員による家計再建等に関する相談会（毎月第2水曜日、予約制）を行った。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
相談件数	11	5

(5) 就労準備支援事業

生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなど、複合的な課題があり既存の雇用施策の枠組みでは支援になじまない方に、一般就労に従事する準備としての基礎能力形成を計画的かつ一貫して支援を行った。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
支援対象者件数	8 人	5 人
支援プログラムの実施	68 回	13 回
職場見学	3 回	0 回

(5) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

8 生駒市福祉センターの円滑な管理・運営

(1) 生駒市福祉センターの指定管理事業

4月11日から臨時休館を余儀なくされ、5月26日から利用制限を設けながら再開することになった。再開後も内容の見直しを行い、利用制限の継続や事業内容の変更、中止等の判断をせざるを得ないものもあった。

(単位:人)

利用区分	令和2年度	令和1年度
福祉団体	1,811	3,340
ボランティア団体	2,215	6,694
各種教室	1,797	5,071
市関係	386	784
手話関係	121	99
行事	1,290	1,697
合計	7,620	17,685

ア 各種教室

開催時期が9月にずれ込んだうえ、三密を避ける目的で一部教室では二班制で実施したほか、カラオケや料理等調理を伴う各教室及び新しく予定していた社交ダンスについては中止となった。なお、教室を開催できなかった期間の対応として、DVD「自宅でできる簡単たいそう」を製作し、全教室の申し込者約300人に配布し外出自粛期間の運動不足解消に努めていただいた。更に、体操系教室(中国気功・健康ヨガ・健康太極拳・フラダンス)受講者には基礎となる動きを収録したDVDを作成し事前学習していただける対応を行った。

教室名	令和2年度		令和1年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
やきもの教室A	11	108	18	202
やきもの教室B	11	85	18	185
水彩画教室	12	129	17	247
さをり織り教室	11	75	18	116
料理教室	中止	—	8	130
パンフラワー教室			18	289
中国気功教室	12	173	17	463
たいそう教室	10	86	18	210
カラオケ教室A	中止	—	19	367
カラオケ教室B	中止	—	19	363
編み物教室	12	104	19	259

絵てがみ教室	12	98	18	223
手作りパン教室	中止	—	8	130
園芸教室	12	170	20	281
健康ヨガ教室	12	166	19	514
健康太極拳教室	12	159	8	213
フラダンス教室	12	169	17	386
パッチワーク教室	10	99		
合 計	149	1,621	279	4,578

短期教室名	令和2年度		令和1年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
ビーズ教室	6	60	6	81
パッチワーク教室			10	157
親子料理教室	中止	—	1	18
お菓子教室	中止	—	1	10
男性クッキング教室	中止	—	3	35
アロマキャンドル教室	1	11		
ハーバリウム教室	1	12		
ストレッチ教室	7	93	8	192
合 計	15	176	29	493

イ 福祉センター祭

障がい者や高齢者（60歳以上）が各種教室で学んだ成果を展示・発表する場として福祉センター祭を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、フレンドルームでの発表会及び模擬店を見合わせ、開催期間を3日間に分散したうえで作品展示及び運動系教室はムービ上映での発表に変更して実施した。

開催日 3月4日 ～ 3月6日
来場者数 253人

ウ 各種行事

障がい者(児)とその家族、高齢者（60歳以上）を対象に、各種行事を実施しているが、秋の日帰りバスツアーとレクリエーション・ゲーム会は中止した。

(ア) ボッチャ体験会

1月27日 27人参加
1月30日 47人参加

エ ボランティア講習会

登録ボランティアを対象に、障がい者及び高齢者への理解を深めるための講習を実施した。

実施日 11月24日
 場所 生駒市福祉センター
 内容 あいさぽーター養成講座
 講師 権利擁護支援センター職員
 参加者 27人

実施日 1月29日
 場所 生駒市福祉センター
 内容 成年後見制度について
 講師 権利擁護支援センター職員
 参加者 25人

オ 意思疎通支援事業

(ア) 手話通訳者等設置事業

専任の手話通訳者を設置し、手話通訳者派遣のコーディネートを行うとともに、聴覚障がい者等の日常生活における様々な相談に応じた。

(イ) 手話通訳者派遣事業

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者を派遣した。

区 分	令和2年度	令和1年度
派遣件数	222件	249件
派遣人数	245人	295人

(ウ) 要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚障がい者等の社会参加におけるコミュニケーションを円滑に行うため、要約筆記奉仕員を派遣した。

区 分	令和2年度	令和1年度
派遣件数	29件	34件
派遣人数	73人	105人

カ 社会参加支援事業

(ア) 点字・声の広報の発行

視覚障がい者の社会参加・自立の一助として、「点字広報いこま いこまち」及び「声の広報いこま いこまち」を発行した。

区 分	令和 2 年度		令和 1 年度	
	回数(回)	利用人数(人)	回数(回)	利用人数(人)
点字広報	12	36	14	42
声の広報	12	186	14	228

(イ) 各種講座

手話奉仕員養成講座（基礎編）及び点訳講習会の開催を見送ったが、聴覚障がい者や視覚障がい者の社会参加におけるコミュニケーションを助ける技術を学ぶ講座を開催した。

講 座 名	令和2年度		令和1年度	
	開講回数(回)	参加人数(人)	開講回数(回)	参加人数(人)
手話奉仕員養成講座	20	344	44	665
聞こえのサポーター講座	7	78	7	30
点訳講習会	—	—	10	31
音訳講習会	6	79	6	55
合 計	33	501	67	781

(2) 自主事業

ア 点字図書の貸出し

視覚障がい者等に情報を提供するため、芥川賞・直木賞受賞作品の点字図書を貸し出した。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
利用件数	12 件	10 件
貸出数	44 冊	28 冊

イ 聴覚障がい者サロン（ふく mimi サロン）の運営支援

市内の聴覚障がい者の社会参加と仲間づくりの輪を広げ、いきいきと安心して暮らせることを目的に開催し、社会参加の機会の提供に努めた。

実施回数	計 7 回
場 所	生駒市福祉センター
内 容	手話及びノートテイクボランティアのサポートを受け、DVD鑑賞、市のどこでも講座、あやめ池散策、ゲーム大会などを行った。
参 加 者	6 7 人（延べ）

ウ 手話奉仕員スキルアップ研修

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を見送った。

(3) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0件

9 地域包括支援センターの運営と介護予防の推進

高齢者の地域生活の支援のため、地域ネットワークづくりを推進するとともに、各種支援サービスを提供した。

(1) 包括的支援事業

ア 地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を送るために、介護サービスを始め様々なサービスを包括的に受けられるよう、関係機関との調整等、高齢者を支える総合機関としての運営を行った。

(ア) 介護予防ケアマネジメント事業

総合事業対象者、要支援認定者に対し介護予防サービス支援計画を作成した。

(単位:件)

	令和2年度	令和1年度
総合事業合計	341	394
総合事業対象者	(43)	(73)
要支援1	(124)	(107)
要支援2	(174)	(214)
予防給付合計	357	336
要支援1	(100)	(107)
要支援2	(257)	(229)

(イ) 総合的な相談支援事業

介護保険等様々な制度や地域資源との連携による相談及び支援を実施した。

(単位:件)

区分	令和2年度	令和1年度
相談件数	914	630

(ウ) 包括的かつ継続的ケアマネジメント事業

包括的かつ継続的なケアマネジメントが行えるよう、地域のケアマネジャーに対し支援を行った。

	令和2年度	令和1年度
集団支援		
実施回数	15回	5回
参加者	195人	106人
個別支援		
相談・支援	63件	71件

(エ) 地域支援体制整備

地域のネットワークづくりのため、関係機関と連携を図った。

区分	令和2年度	令和1年度
連携件数	48件	55件
地域ケア会議	41回	56回

イ 介護予防事業

高齢者やその家族を対象に介護予防に関する知識及び技術の普及啓発を目的に、介護予防教室を実施する予定だったが、感染症流行のため実施しなかった。

(ア) 生活機能評価未返送者実態把握事業

市が郵送した「基本チェックリスト」の未返送者の実態等を把握するため、調査を行った。

(単位:件)

区分	令和2年度	令和1年度
訪問支援件数	33	37

ウ 認知症地域支援推進員の配置

(ア) 認知症の人及び家族の支援として相談業務を行った。

(単位:件)

区分	令和2年度	令和1年度
相談件数	307	194

(イ) 認知症サポーター養成講座等を開催した。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
回数	3 回	4 回
人数	238 人	232 人

(2) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

10 デイサービスセンター幸楽の円滑な管理及び運営

利用者の多様化、複雑化する高齢者の介護及び予防並びに障がい者の生活ニーズに対応するとともに、自立支援に向けたサービス提供に努めた。

(1) 介護保険事業の運営

ア 要介護認定調査事業

市から介護保険認定調査事業を受託し、各地域において認定調査を行った。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
市 内	29	52
他 市	0	1

イ 居宅介護支援事業 (ケアプランの作成)

要介護認定者に対し、居宅サービス計画 (ケアプラン) を作成した。

(単位:件)

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
要介護 1	374	362
要介護 2	416	385
要介護 3	220	192
要介護 4	149	144
要介護 5	54	53
合 計	1,213	1,136

ウ 訪問介護事業

要介護認定者に対し訪問介護員を派遣し、生活援助及び身体介護を行った。

区 分	令和 2 年度		令和 1 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	138	858	103	647
要介護 2	150	1,310	143	1,092
要介護 3	20	104	29	209
要介護 4	45	304	31	265
要介護 5	7	64	20	279
合 計	360	2,640	326	2,492

エ 通所介護事業

要介護認定者を対象に、送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 2 年度		令和 1 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
要介護 1	211	1,924	207	1,798
要介護 2	177	1,896	192	1,495
要介護 3	73	852	116	1,033
要介護 4	82	646	87	627
要介護 5	21	109	23	167
合 計	564	5,426	625	5,120

オ 介護予防訪問介護相当サービス・訪問型サービス A

総合事業対象者、要支援認定者に対し訪問介護員または生活支援員を派遣し、身体介護や生活援助を行った。

区 分	令和 2 年度		令和 1 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
介護予防訪問介護相当サービス				
総合事業対象者	20	85	22	96
要支援 1	117	536	70	338
要支援 2	99	575	159	862
合 計	236	1,196	251	1,296
訪問型サービス A				
総合事業対象者	33	133	49	198
要支援 1	31	126	50	207
要支援 2	60	243	59	216
合 計	124	502	158	621

カ 介護予防通所介護相当サービス・通所型サービスA

総合事業対象者、要支援認定者を対象に、送迎、食事、入浴やマシンを使った運動プログラム等の通所サービスを行った。

区 分	令和 2 年度		令和 1 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
介護予防通所介護相当サービス				
総合事業対象者	5	14	1	4
要支援 1	30	109	63	233
要支援 2	159	902	140	876
合 計	194	1,025	204	1,113
通所型サービス A				
総合事業対象者	51	165	52	160
要支援 1	24	72	20	82
要支援 2	24	98	30	116
合 計	99	335	102	358

ク 第 1 号通所型サービス C (パワーアップ P L U S 教室)

理学療法士や作業療法士、看護師、介護予防運動指導員等の専門職の指導による、マシンを使った運動や自宅で行う運動の個別指導を行い、短期間で元気な生活を取り戻すための教室を実施した。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
参加延べ人数	1,899 人	1,540 人
教室開催回数	179 回	192 回

(2) 障がい福祉サービス事業の実施

ア 居宅介護 (ホームヘルプ) 事業

ホームヘルパーを派遣し、介護、家事等生活全般にわたる援助を行った。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
利用人数	43 人	49 人
回 数	403 回	487 回

イ 移動支援・同行援護・行動援護事業

障がい者が円滑に外出できるよう、移動支援、同行援護及び行動援護を行った。

区 分	令和 2 年度		令和 1 年度	
	人数(人)	回数(回)	人数(人)	回数(回)
移動支援	0	0	0	0
同行援護	31	248	39	245
行動援護	1	1	5	5

ウ 生活介護（デイサービス）事業

障がい者に送迎、食事、入浴等の通所サービスを行った。

区 分	令和 2 年度	令和 1 年度
利用人数	32 人	17 人
回 数	192 回	120 回

(3) 自主事業

ア はいせつ無料相談（ミニむつき庵いこま）

排泄に関する問題を抱えながら、適切な指導や助言を得られずにいる方、また問題の存在に気付かないまま過ごしている方に対し、面談や電話等での相談の対応を行った。

イ 要介護者及び家族交流事業（salon de kouraku）

普段介護を行っている家族、常時の介護を必要とはしないが社会的交流や役割などの獲得が必要な要支援者等に対して、毎月第3水曜日の10時から、情報交換やリフレッシュができる場を提供していたが、今年度は実施を見合わせた。

(4) 苦情等受付状況

苦情受付件数 0 件

1 1 交通遺児（高校生）奨学金の支給

交通災害により親等を失った高校生に交通遺児奨学金の支給を行う。

交通遺児奨学金支給者 0 人